

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2009-15335(P2009-15335A)
 【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)
 【年通号数】公開・登録公報2009-003
 【出願番号】特願2008-206080(P2008-206080)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)
 G 0 2 F 1/13357 (2006.01)
 F 2 1 V 8/00 (2006.01)
 F 2 1 V 5/00 (2006.01)
 F 2 1 V 5/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 C
 G 0 2 F 1/13357
 F 2 1 V 8/00 6 0 1 A
 F 2 1 V 5/00 5 3 0
 F 2 1 V 5/04 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月5日(2009.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基質の一方の主表面上に多数の光学的な凸部を形成してなる光学シートにおいて、前記多数の凸部は所定の曲率半径を有し且つ不均一に配置されている、光学シート。

【請求項2】

前記多数の凸部は所定の距離離間してまたは重畳して設けられている請求項1に記載の光学シート。

【請求項3】

前記凸部は半球状である請求項1または2に記載の光学シート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明は前記のような問題点を解決するために提案されたもので、

(1) 基質の一方の主表面上に多数の光学的な凸部を形成してなる光学シートにおいて、前記多数の凸部は所定の曲率半径を有し且つ不均一に配置されている、光学シートを提供する。

(2) 好ましくは、上記光学シートにおいて前記多数の凸部は所定の距離離間してまたは重畳して設ける。

(3) 好ましくは、上記光学シートにおいて前記凸部は半球状である。